

史料群番号 22

史料群名	しのづかえいどう 篠塚栄堂家文書	旧所蔵者	篠塚栄堂
探訪時住所	茨城県鹿島郡波崎町		
現在の住所	茨城県神栖市		
探訪年月	昭和25（1950）年7月		
史料の年代	大正5（1916）年～昭和14（1939）年	史料の総点数	8点
年代の内訳	近代 8点	筆写稿本	なし
既刊行目録	「平成十八年三月 水産総合研究センター所蔵古文書目録-福島県・茨城県・栃木県・千葉県関係史料-水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

本史料群が探訪された際の書類には、文書の数量は「文書5点」と記されている。しかし、これまで本研究所には、「篠塚権右衛門家文書」及び「篠塚家文書」として分類・整理された史料群は存在したものの、「篠塚栄堂家文書」という史料群は存在しなかった。そこで目録の刊行に当たり、諸調査を行った結果、「篠塚栄堂家文書」に該当すると思われる文書5点が「篠塚家文書」の中に混入していることが分かった。従って、刊行目録では、「篠塚家文書」137点のうち、8点を転出し、これを「篠塚栄堂家文書」として取り扱っている。詳細は、上記、既刊行目録欄の目録を参照していただきたい。

史料群の概要

探訪地は、篠塚権右衛門家文書と同字内である。  
本史料群は、概ね篠塚栄堂氏の父弥兵衛の功績や事績に関するもので占められている。内容的には、漁業の衰退に伴い農業経営への転換を主導する契機となった報告書、あるいは郷土史執筆にかかるものや地域の伝説などが含まれる。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

